

# 地域とつながる人

## 南部太鼓出演



9/20(日)寒河江祭り「ふるさと芸能祭り」、9/27(日)島地区敬老会、10/11(日)南部地区文化団体交流会と、南部太鼓のみなさんが地域の発展と伝統のために壮大な響と華麗な舞を披露してきました。

いつも違う太鼓の響きだったけれど、やり終えた後のみんなの笑顔に私もうれしくなりました。(五年七カル)

## 親と子で楽しむ演奏会



9/19(日)PTA母親委員会の取り組みとして、陵南中学校吹奏楽部の演奏会が本校体育館で行われました。数々のコンクールで入賞している先輩達の素敵な演奏に親子で、そして地域の方と一緒に子ども達はうっとりとした表情で聞き入っていました。

音がそろっていてとてもきれいな音楽でした。中学校に行ったらやってみたいです。(二年甲桜・沙弥)

## 稲刈り5年 9/25



9/25(金)、田んぼの先生今井伝吉さんのご指導のもと、5年生が稲刈りをしました。「ひとつの稲穂に米はどれくらいついているのだろうか？」田植えをしてからずっと観察を続けてきました。刈った稲を束ねて、稲ぐいに干すまで手際よく作業していました。

土にまみれながらも、がんばって稲を刈りました。田植えからずっと見てきました。自分達で炊いて食べるのが楽しみです。(五年想)

## 心豊かに

## 交歓音楽会 9/18



9/18(金)4年生の「心に響くハーモニー」が会場を包み込みました。練習から本番までの過程で培った仲間との絆が、聞く人に感動を与える素晴らしい発表となりました。

## 音楽鑑賞教室(山響) 9/28

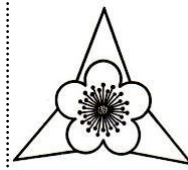


音の強弱や迫力が、さすがプロの演奏だなあと感動しました。(四年果穂)

## 11月の主な予定

6日(金)地層見学6-2 7日(土)ピオトブ作業(委員) 9日(月)ICT支援日 10日(火)集金口座振替日・ワックス塗り 11日(水)学校開放日 12日(木)陵南学区懇談会 13日(金)みなみおはなしかご 14日(土)PTA5学年行事 16日(月)職員会議 18日(水)授業研究会 2-2 4-1 19日(木)眼科検診・クラブ(見学会) 21日(土)ピオトブ総会 25日(水)避難訓練 26日(木)クラブ(最終) 27日(金)みなみおはなしかご カウンセリング週間 16日~20日 早ね・早おき・朝ごはん・アウトメディアチャレンジ週間 17日~20日 心を育む給食週間 30日~12月5日

南部小学校通信



# 南部っ子

発行日 平成27年10月19日  
発行所 寒河江市立南部小学校

学校教育目標

=学び確かに 心豊かに 体健やかに=

## 見て下さい「いきいき挑戦する南部っ子」の姿を! ~ 晴天の持久走記録会より ~

10月7日(水)、爽やかな秋晴れの中、「持久走記録会」が行われました。中学年・低学年・高学年の順で実施しましたが、あの青空のように心がスカッとしました。そうさせた「南部っ子」の姿は、次の通りです。

- スタートした子ども達が、全員最後まであきらめないできちんとゴールして記録を残したこと(記録会の意義)
- 途中で転んでも自分で起きてまた走り出し、見事にゴールした人がいたこと
- 苦しくなって(腹が痛くなって)も、自分に勝ち耐え抜き、最後まで走り抜いた人がたくさんいたこと
- 目標としていた順位よりも下で、悔し涙を流す子どもがいたこと(それだけ真剣に取り組んだということです)
- 目標達成、または練習よりも順位を上げて、うれし涙を流す人がいたこと(目標をもって努力することのすばらしさ)
- 記録をねらうぞという意気込みと冷静な走りで3分を切り、新記録(4年女子)を出した人がいたこと
- ライバルを意識すると共に、自己記録更新を達成するぞという気持ちで、積極的な走りをした人がいたこと
- カーブを曲がって直線になるところで、周囲の声援を受けてダッシュする姿が見られたこと(声援は力)
- ラストの直線で、必死の形相で前へ前へと走ろうとする人がたくさんいたこと(見事なラストスパート)
- ねらっていた新記録には届かなかったけれど、苦しさで耐え体全体で走り表現した人がいたこと

※ 「がんばれ」「あと少し」「OOいいぞ」「いけるいける」等、ご家族の大声援の中、「南部っ子」が一生懸命の走りをしてきた光景に感動しました。子ども達は、たくさんの地区民から支えられている事を改めて感じました。本当にありがとうございました。

※ どの学年も、「応援ありがとうございました。」とお礼をして記録会が終わりました。全力を尽くす、そして応援には感謝する。これが「南部魂」です。

※ 持久走記録会で挑戦する子ども達の姿を見ていると、「本当に南部小の子ども達は体力テストの結果があまりよくないのだろうか」と疑いたくなります。これぞ、高め合う姿です。真剣に取り組むことは、それほど美しいのです。



【校長 武田幸一】  
「左利きを考える」の心  
高校一年の時、体育で初めて剣道の竹刀を持った。子どもの頃から、棒やバットは左手を上にして持つ癖があり、竹刀も同様に握った。当時の斎藤先生は、「竹刀は右手が上だが、体育だからやり易い方がいい」と言ってくれた。優しかった。  
私は、小さい頃、箸や鉛筆は右手で持つよう直された。右手で書く習字は少し辛かった。  
本校には、左利きの人は何人いるのだろうか。教室を回ってみると、鉛筆は左・筆は右(習字は右手が基本らしい)で頑張っている子もいた。  
今は、利き手のことは余り気にしない世の中になっているが、左利きの人はいろいろと不便なことがあるのも事実である。そんな意味で、児童朝会で、私は勝手に「左利きの応援団」と言ってしまった。いろいろな人がいて当然で、線引きするのは良くない事かなあと思いつつ・・・

今年度のキーワード「互いにつながって高め合う」

修学旅行～会津・日光の旅 10/1  
10/2



## 「歴史・文化を学ぶ旅」

班別研修でバスを使わず自分達の足で、人に聞きながら目的地まで行ったことがとてもうれしかったです。(6年慶冨)

## 「マナー甲子園」という自覚

会津若松と鬼怒川・日光方面への修学旅行。「バス停が見つからずおばちゃんに聞いた。」など、どの班も現地での小さな問題を自分達で解決して行動しました。『さがえ』をPRするパンフレットも勇気を出して手渡していました。

「マナー甲子園」に出場！を合い言葉に、社会のルールを意識して生活しました。すれ違う人々にあいさつしたり、履物をそろえたり、バイキングの食事では順番を守って静かに盛りつけたり、スリッパを揃えたりと落ち着いた態度で生活できました。バスの中や日光東照宮ではガイドさんの話を静かに聞くこともできました。

「マナー甲子園」見事、決勝戦まで進出、6年生のよさを発揮し、新たな発見や体験を通しての深い絆。爽りある修学旅行でした。

班のみんなでサポートし協力できたのが楽しさになりました。ホテルで過ごしたことや地獄寺のお化け屋敷がいい思い出になりました。(6年琉唯・瑞紗)



## 防煙教室 9/25

学校医の田村先生を講師にお迎えして、防煙教室を行いました。たばこをたくさん吸った人の肺を写真で見ただけに、ミミズにニコチンを注ぐ実験ではミミズが縮む様子に子ども達はとても驚いていました。



## オードブル給食 9/30



からあげがおいしかったです。きゅうしょくは、のこさず食べたいです。またあるといいなあ。(1年りくと)

## 「いのち」をつなぐ人

## 体健やかに

校内持久走大会学年1位及び記録 大会新記録

	男子	女子
1年 600m	奥山琉矢 2' 34"7	松田未生 2'45"9
2年 600m	小林聖河 2' 18"6	武田ももか 2'28"8
3年 800m	上野隆之介 3'12"0	高橋成良 3'03"3
4年 800m	小林航河 2'57"7	奥山紬来 ☆2'54"2
5年 800m		武田茉里 2'59"8
1000m	小角琉空 3'36"7	
6年 800m		馬場ゆき乃 2'52"0
1000m	武田祐真 3'23"8	

## 学び続ける人

学び確かに

第7回校内研究全体会 10/9

## 「個の伸長・新たな自分」～授業で子どもは育つ～



4年2組の授業は、長さの単位が異なる場合の長方形の面積を求めることを目標に、 $m^2$ と $cm^2$ の単位間の相互の関係を理解しながら、 $1m^2$ は何 $cm^2$ になるかを考える授業でした。5年2組の授業は、個数が違う2つのグループの平均から、全体の平均を求める学習でした。いずれの授業にも、単元を通しためざす子どもの姿に「説明する力」があります。「授業で子どもを育てる」この積み上げが社会で活かせる力となっていきます。説明力をもっとつけさせるために、時間内にきちんと目標を達成させるために、どこをどうすればよいか……。今日の子どものための課題に向かう真剣な姿勢に学び、明日からの授業に役立てていくための振り返りを教師全員で行ったところです。

校内研・全国学テ～今後に向けて

## アクティブラーニング (主体的・能動的・協働的な学習)

- 「見る(体験)、聞(聴)く、書(描)く、話す(説明)～根拠を示す」単元を貫く言語活動  
例『説明名人になろう』『公式を謎解く』『〇〇を〇〇に紹介しよう・推薦しよう』『〇〇図鑑をつくろう』等
- 課題(めあて)と関連つけた振り返りを必ず行って終わる授業  
ポイント1・・・「課題(めあて)設定」毎時間必ず提示・共有する・単元の中の本時の位置づけ  
ポイント2・・・「解決の見通しが持てる習慣」学び方を学ぶ→社会で生きる力
- 教師自身の振り返り(児童理解・活動の量・課題の共有と焦点化・時間配分)
- 「家庭学習のてびき」と学校での自学(クローバertime)を授業と連動させる



## 「はたらく車」体験学習 10/1



1年生の国語「じどう車くらべ」の学習に、建設協会西村山支部の皆様からのご協力いただきました。「どんなしごこの車?」「そのためにどんなつくりになっている?」教科書の文をくらべて読み、最後に『じどう車ずかん』をつくります。疑問を解決するために、文を読み解き、本物に触れ、新たな車も調べ、まとめる。この学び方そのものが社会でも生きる力です。バックホウ(ショベルカー)との綱引きでは全員の力で勝利し大歓声。意欲と探求心をくすぐられる学習でした。

こうしょさぎょう車にのると、3かいのおく上がみえました。はたらく車をまちでみつけるのがたのしみです。(1年えいと)